

ひなたぼっこ通信

2020年
3月号

宅幼老所から

「昔からの行事」

宅幼老所では日本古来の年間の行事をご利用者様と共に楽しんでいきます。

七草 節分 ひな祭り
紅葉狩り お正月おせち料理 等食に関わる内容が多いです。

「ご利用者様に」今まで生活されてきて、楽しかった思い出は何ですか。」とお聞きすると「働いて食べて行くのがいっぱい大変だった。」とのお返事が多いです。働いて食べる事で精一杯の生活の中でも、昔から伝わっている行事は、ご利用者様の心の中に、暖かく深く残られています。変化のない生活のなかで唯一の楽しみだったのではと思われれます。

懐かしい行事の話になると会話がはずみます。「自分達の頃はこういうやり方だったよ」等々、話の内容が膨らみ、私達職員の知らない事を沢山教えてくださいます。何よりその時のご利用者様は受け身ではなく発表者です。その一瞬の時間は、社会の中心で活躍されていた頃のご自分に戻られます。そんな時、発言の無いご利用者様も共感を



されたのでしょうか、うなずかれる様子がみられます。

これからも、利用者様にはそんな懐かしい感情を沢山味わっていただき、職員も一緒に楽しめる時間を作っていきたいと思えます。

ケアハウスから

「私の介護ヒストリー」1階

私が介護の仕事について10年になります。それまでは何の仕事をやっても長続きせず途方に暮れていました。そんな時新聞の介護学校募集の欄に目がとまり挑戦することになりました。先生にはよく注意されながらも、厳しい中なんとか4ヶ月後にヘルパー2級を取得しました。資格は取ったものの介護が恐ろしく思えて一歩踏み出す勇気がなく2ヶ月間フラフラしていました。そんな時研修先の職員に声をかけてもらい悩んだ挙句介護を始めることになりました。

最初は礼儀だけはしっかりしないという思いでいきましました。無我夢中でした。そんな時先輩方に君は介護向いているよと褒められ、段々と自信を持ち始めていくようになりました。特に力に



なったことはディサービスでレク担当をよくやるようになったことです。自然と笑顔が作れ、気持ちも明るく人前に立つことが好きになりました。

今思うと昔は楽しい仕事なんてありえないと思っていたのですが、本当に天職とはあるものなんだなと思ひ、僕を誘ってくれた先輩に今でも感謝しています。

現在は利用者の全員の表情を明るくしていきたいという大きな目標を持っています。それを達成するには仲間の協力が不可欠です。チームと力を合わせて笑顔で溢れたひなたぼっこを作りたいと思えます。(K・K)

「タヌキの道案内」2階

私はよく山沿いの道を車で走っていると獣に会います。

その日も友達の結婚式の帰り道に、友達の運転する車の前を友達と『何だろっ?』『ねっ?』『ねっ?』と喋りながら、車でゆっくり追いかけて良く見るとタヌキのようです。

タヌキもすたすと車道を進んで行きます。まるで私たちを道案内しているよう。しばらく先導してくれた後、左手の山へゆっくりと登って行きました。

そんなに珍しい動物ではありませんが、山道で出会うとなんか可愛らしくて親近感がわきます。皆さんもこんな出会いをした事ありませんか?きっと出会ったら可愛いと思う事間違いありません。

グループホームから

「福はうち！鬼もうち！」1階

暖冬といっても寒い日が続く中、今年も節分の季節がやってきました。節分には季節を分けるという意味があります。悪いものや災いを鬼にたえ、豆をまいて追い払い、1年の無病息災を願います。

グループホーム1階では、職員が鬼になってお部屋を訪問しました。突然のことにもかかわらず、「まあ、誰かと思っただわ。」と、誰なのか分かってしまったようです。お部屋から出てきて、手作りの箱に大豆や落花生を入れていざ、豆まきです。「鬼は外！福は内！」と、日頃から何か溜まっているかのような力強い勢いです。一通り投げ終えると、ある利用者様は「鬼もうちー」と言い出すのです。「職員さんには世話になってるからねえ。これからも世話になるからねえ」と、思わず目頭が熱く…。

投げた落花生は殻をむいて美味しくいただきました。「歳の数食べないとねえ」「私は十五ほどいいねえ」と冗談も交えて楽しんでいただけっているようでした。夕飯を食べられるか心配になるほど豆を食べて、今年も元気で過ごせること間違いなしですね。



行分課の広報

放課後等デイサービスから

「突然の春休み！」

新型コロナウイルスが、猛威をふるっています。ほとんどの方が、ほんの1か月あまり前は、対岸の火事のように思っていたのではないのでしょうか。ところが、日本でも感染が広がるにつれ、だんだんと不安がまってきました。そして、2月27日の突然の「全国一律休校の要請」となりました。総理大臣による「要請」は事実上の強制となり、慌てふためいて各自自治体の教育委員会は休校の措置を発表しました。それも3月2日からです。

養護学校や特別支援学級に子どもを通わせている保護者の方の困惑は、想像を絶していました。来週の月曜日から子ども達の行き場がなくなるのですから。放課後等デイのスタッフは、金曜日の夕方に出そろった、各教育委員会の「休校措置」を見て、会議を開き、その日のうちに対応を決めて、その日のうちに各保護者の皆さんに連絡をしました。電話口では一様に、「コロナは怖いが突然の休校に戸惑って、困っていると話しておられました。結果として、ひなたぼっこは3月2日の月曜日、

朝からお子さんたちを預かることにしました。今、ひなたぼっこには朝から子ども達の賑やかな声が弾んでいます。子ども達にとっては「長い春休み」のはじまりのようです。中には「ラッキー」と言っている子もいるのです。子どもは、それくらいで



いいとも思ったりします。

ただ今後、どれくらいでこの新型コロナウイルスが収束するか、全く読めないことが不安です。

編集後記(本部から)

新型コロナウイルスの感染拡大の防ぐために、当法人のどの事業所も「消毒・手洗い・換気」などに一層力を入れています。面会の制限など、利用者様やご家族様に窮屈な思いをさせてしまっていると思います。どうかご理解とご協力をお願いします。

2月の無料塾とフードバンク

無料塾には7人のお子さんが来てくれました。そしてフードバンクは11人の利用者がありました。さらにさらに、2月の100円食堂のメニューは「手作りハンバーガー！」でした。ハンバーグも自分でこねて、ボリューム満点のハンバーガーにみんなで舌鼓！17人の参加でした。

新型コロナウイルスの関係で3月は中止ですが、4月19日には行う予定です。

発行 社会福祉法人ひなたぼっこ
理事長 森 正明

〒399-0211
富士見町富士見1-650-1
TEL 0266-61-2335
FAX 0266-61-2336

